



温室効果ガス排出に関するデジタルガバメント構築事業

2019年度予算（案）
50百万円(新規)

地球環境局
地球温暖化対策課

背景・目的

2017年5月に決定されたデジタルガバメント推進方針において、電子行政の目指す方向性として、デジタルファースト、ワンスオンリー、ワンストップ等の実現が重要であることが示されたところ。

このデジタルガバメント構想に沿って、CO2排出者（個人以外）の温室効果ガスの一元的な管理を行うと共に、関連するシステムとの統合や連携を行うことで、企業が日常的なエネルギー管理から月次・年次の排出量の管理、削減目標の設定や削減対策の実行までを、円滑に一気通貫で管理できる排出管理統合システムを構築する。

事業概要

温室効果ガス排出者（個人以外）の温室効果ガスの一元的な管理を行うと共に、関連するシステムとの統合や連携を行うことで、企業が日常的なエネルギー管理から月次・年次の排出量の管理、削減目標の設定や削減対策の実行までを、円滑に一気通貫で管理できる排出管理統合システムを構築するため、必要な調査及び設計を行う。

期待される効果

企業が日常的なエネルギー管理から月次・年次の排出量の管理、削減目標の設定や削減対策の実行までを、円滑に一気通貫で管理できる排出管理統合システムが構築でき、企業のCO2削減対策が飛躍的に進む。

事業スキーム

委託対象：民間団体

事業期間：31年度（2019年度）

～35年度（2023年度）

事業イメージ

